シア・ウクライナの問題など有りますが音楽を通して世界平和を祈らずにはいられません。一人でも多くの会員を増やし今後の音鑑の発展をお祈り致します。

フラワー・小笠原和

■大雪の中での総会、会員の出席が多いことにビックリです。皆様の前向きな行動と音鑑を継続しようという気持ちが感じ取られました。三味線の演奏素晴らしく感動しました。今日は欠席と思いましたが出席できたから聴くことができよかったです。役員の皆様お疲れさまでした。ありがとうございました。

無記名

ゲスト・山中信人さん

ロシアは侵略戦争を直ちにやめろ

2月24日現地時間早朝、ロシアは隣国ウクライナに対する「特別軍事作戦」を開始し、大量の部隊を侵攻させた。最近では原発への攻撃そして病院への攻撃と多数の民間人を殺害しています。これは、国連憲章においても今回の軍事侵攻は国際法違反の「侵略行為」である。

また、安倍元首相は日本も「核の共有」をタブー視せずに議論すべきと述べ、日本維新の会はそのための「提言」まで行いました。しかし、核兵器を振りかざして対抗すれば、プーチン政権と同罪です。今、日本がやるべきことは、ヒロシマ・ナガサキの体験に立って核兵器は「絶対悪」だと世界に訴えることです。

全国労音は「良い音楽を多くの人々に」普及することを目指し、活動している音楽団体の全国組織です。今までも、世界の平和を守り発展させるには国や民族を越えて交流し合い、互いを理解することが重要であると考え、冷戦下の1950年代 90年代にも西欧や米国だけでなく、当時のソ連・東欧諸国の演奏家・団体の演奏会を行うことに努めてきました。

全国労音は、これまでもこれからも「平和」「自由と民主主義」「人権」などに関して、それらを脅かす事態や言論にも状況に応じて声をあげます。

今度のロシアによるウクライナへの軍事攻撃、同国民の殺傷、核兵器使用の威嚇、原発攻撃などは、プーチン政権の蛮行であり、世界の平和を脅かすものです。

ロシア軍の即時撤退を強く求めます。

2022年3月18日全国労音幹事会

東京新聞記者 望月衣塑子氏講演会

民主主義とは何か～政治とメディア、人権、ジェンダーを考える

望月衣塑子(もちづき・いそこ)氏
東京新聞記者。日本の武器輸出や軍学共同問題、辺野古問題、女性ジャーナリストへの性暴力裁判、在留外国人の人権問題など、幅広い報道を続けている。氏の著書を原案にした映画「新聞記者」は2020年、日本アカデミー賞３部門で最優秀賞を受賞。

5月29日(日)
13:30開演 14:00開演
市民会館大ホール
参加費：500円
音鑑事務局、本日会場で発売

主催:函館講演会実行委員会
電話0138-54-3113(堀口)